

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2023

大阪の受賞校へ賞状を授与

JICAは毎年、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストを実施しており、2023年度は「地球に生きる私たちー未来へつなげるためにー」をテーマに作品を募集しました。この度、全国から応募総数 37,592 作品(中学生の部:17,439 作品、高校生の部:20,153 作品)の中から「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」に選ばれた生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西職員が、国際協力やSDGs 等について懇談予定です。

世界とのつながりが益々深まる現在、生徒たちが何を学び、未来に向けてどのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

【日程】 2月19日(月)12:55～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
四天王寺中学校	国内機関長賞	1	「知らない」は罪深い	大阪市天王寺区 天王寺 1-11-73
	佳作	1	小さな行動が世界をつなぐ	
	学校賞(※)			

【日程】 2月20日(月)15:20～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
大阪府立池田高等学校	国内機関長賞	2	子どもの未来と教育	池田市旭丘 2-2-1
	佳作	2	未来の世界中の母子へ	
	学校賞(※)			

※60作品以上または全校生徒の3割以上応募した学校が対象

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 後藤田 路子 TEL:078-261-0384 E-mail: Gotouda.Fukiko.2@jica.go.jp

<参考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 四天王寺中学校 1年 タイトル:「知らない」は罪深い

安価な服が流通している背景には、安い労働力や大量の農薬による健康被害にさらされ生産されていると知り、これから自分にできると事として、誰かが犠牲になっていないか考え、エシカルな選択をしたいと思った。

●佳作 四天王寺中学校 1年 タイトル:小さな行動が世界をつなぐ

ヘアドネーションをきっかけに、自分が行動する事によって活動の内容や大切さを多くの人に知ってもらえた。これからも私達子供の小さな活動から、人々に幸せを届けたいと意識する人が増えて欲しいと思う。

●国内機関長賞 大阪府立池田高等学校 2年 タイトル:子どもの未来と教育

世界中の子供の5人に1人は学校に通えておらず、子供達が苦しんでいるのを知った。だが、知っただけで終わらせてはいけない。この世界問題を一人でも多くの人に知ってもらい、繋げていきたい。

●佳作 大阪府立池田高等学校 2年 タイトル:未来の世界中の母子へ

日本が考案した母子手帳は世界50か国以上に広がっているが、もっと多くの未来の母子の健康を守る為には、より多くの国や地域で母子手帳を普及させる事とデジタル化で情報を入手しやすくする事が必要と考えた。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	801	346	1,251
京都府	836	909	1,692
大阪府	1,334	1,052	3,144
兵庫県	485	473	1,173
奈良県	489	6	819
和歌山県	343	35	35
計	4,288	2,821	8,114

賞の種類(中学生・高校生共通) :

個人賞 最優秀賞 3名
(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)
優秀賞 3名
審査員特別賞 4名
国際協力特別賞 10名
国内機関長賞 各都道府県1名以下
佳作 70名程度
【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修
その他個人賞:フェアトレード商品
【参加賞】応募者全員(エコファイル等)
学校賞 60作品以上または全校生徒の3割以上応募(副賞:表彰メダル)
特別学校賞 5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生に対して、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2023年度は高校生の部が62回目、中学生の部は28回目を数える事業。最終審査員長は中学生の部が尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部が星野知子氏(女優・エッセイスト)。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QRコード参照)

